

第2期 北区地域福祉計画

令和3年度の成果と今後の課題

1. 地域でつながり支え合う活動の支援

①地域課題の解決に向けた取組

- ◆ コロナ禍において、工夫を重ね各地域が配食サービスなどを実施。緊急事態宣言解除後は、感染予防を徹底し、2部制にするなど工夫し会食を3地域で実施。



1. 地域でつながり支え合う活動の支援

①地域課題の解決に向けた取組

- ◆ ワクチン接種情報等について、北区役所公式SNSを活用しタイムリーな情報発信を実施。

Twitter フォロワー4,300件

LINE 登録 4,400件

Facebook 登録 1,600件



Twitter

アカウント
@kitaku_osaka



LINE

アカウント
大阪市北区役所



Facebook

アカウント
大阪市北区役所



1. 地域でつながり支え合う活動の支援

②災害時にも支え合えるつながりづくり

- ◆ コロナ禍においてオンライン講座（Zoomミーティング）を活用し「大阪北区ジシン本」基礎講座を開催

開催回数15回



1. 地域でつながり支え合う活動の支援

③地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進

- ◆ 区社協と企業による常設のフードドライブ・日用品ドライブを充実した。また、各種団体よりのフードパントリー支援の充実を図った



2. “きめの細かい”相談・支援の充実

①相談支援体制の充実

- ◆ S S Wを配置し、不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりの充実を図った。

支援のべ児童生徒数 461人

(小学校 320人、中学校 141人)

- ◆ 15地域に地域福祉コーディネーターを配置し、地域での各種相談を受付るとともに、アウトリーチを実施

相談件数17,908件（前年比 +2,375件）

コーディネーター連絡会（毎月1回開催）



2. “きめの細かい”相談・支援の充実

②安心して暮らすことのできる支援の充実

- ◆ 障がい者の社会参加と自立促進を目的に、障がい者支援事業所で作成された生地加工品（マスク・エコバッグなど）の販売を区役所敷地内で実施。あわせて就労系障がい福祉サービスの周知を図った。



- ◆ 区の広報紙で子育て早見表を掲載するとともに、切れ目のない支援やさまざまな相談先の周知を図った。

2. “きめの細かい”相談・支援の充実

③虐待防止と権利擁護支援の強化

- ◆ 区の広報紙で児童虐待防止の啓発と子育てに関する様々な相談先の周知を図った。
- ◆ 自立支援協議会と連携し区役所内1階ロビーにて、虐待防止の動画を放映し、虐待防止の啓発に努めた。



2. “きめの細かい”相談・支援の充実

④子ども、青少年が健やかに育つための支援の充実

- ◆ 「重大な児童虐待ゼロ」をめざし、プレススクールワーカーによる保育施設へのアウトリーチ事業を実施。施設職員が抱える課題や悩みに対して、アドバイスを行うことで施設職員のスキルアップを図った。

相談件数345件 ケース実数621名

- ◆ 5か国語からなる子育て応援ハンドブック（区社協が作成）を日本語が読めない外国籍住民や地域会館、保育所などに配布を行い子育て支援情報の拡大を図った。



3. ふくしのまなび

①福祉マインド（意識）の向上

- ◆ 中学生を対象に障がい当事者理解を目的に障がい当事者と協働し福祉教育を実施した。

実施回数11回598名



- ◆ 大学生を対象に地域福祉の視点からの福祉教育を実施。
(zoomライブ配信)

3. ふくしのまなび

②福祉人材の育成支援

- ◆ フードドライブ、フードパントリーの取り組みに企業、各種団体、個人ボランティアが多く参画し社会貢献活動・ボランティア活動が充実した。



- ◆ 区内大学と連携し、子どもの居場所事業ボランティア活動を推進するなど連携を強化した。

今後の課題・進め方

◆ 地域活動について

→多様な福祉活動への参画、地域との交流を継続できるよう
環境づくりの進展、地域活動の情報共有の活発化による
モチベーションの保持

◆ 情報発信について

→ICTの活用と併せて、高齢者や障がい者など情報弱者に対する
従来型の情報発信（広報紙や広報板など）の継続

◆ きめの細かい相談・支援について

→様々な専門職と連携したアウトリーチの強化